



第35回 スマイル インタビュー



いつ頃から活動されていますか
戦後まもなく、全国で母子家庭を支援する動きが盛んになってきて、大竹でもその流れに合わせて会が組織されました。

どんな活動をしていただけますか

これまで
母子部では、三倉山への遠足、海の家あたまでのお泊り、親子料理教室など楽しい行事の他、お母さんに福祉などの資格取得支援をしてきました。それを寡婦の会員がサポートしています。いずれにしても県連合会との連携が色濃くありますよ。



総会では会員が一堂に会する

『寡婦』という言葉は、普段あまり見聞きしませんか

私たちは「母子」は子育て世帯、「寡婦」は子育てが終わったお母さんという意味で使っています。

どのような事を心掛けて活動していますか

人とのご縁を大切にしています。行事に参加した子ども達はまだ知らない、まだできない事をみんな支えて、教え諭して一緒に成長するよう声かけしています。助け合い、お互い様の雰囲気なかで、子どもの頃のように思い出になってくれれば。



クリスマス会にはサンタさんが登場

70年もの活動ですが、ご苦労も多かったことでしょうか

私自身は苦労を苦と思わない性分なのですが(笑)
ある意味で今の社会は情報の共有が大変難しくなっています。必要な人に届けたい支援の情報が届か

会員の減少もお悩みの一つのことですか

なくなっているように感じます。プライベートが重視されることが大切なのは重々承知していますが、もどかしさを感じているところです。

母子寡婦という言葉を使っていますが、父家庭のご入会も大歓迎です。公の機関から声かけできないご時世のようですので、ぜひ口コミなどで広がってもらえればと思います。



寡婦会員の楽しみもあります!



役員一同、私たちも楽しく仲良く企画運営しています

あとがき

大竹市議会は、令和3年9月に議会の構成が変わり、新しい年を迎えました。私に関係した委員会の最近の主な活動として、『議員定数について』をテーマに、年内には答えを出せるよう協議しています。

また、岩国・大竹道路の進捗状況について国土交通省の説明を受け、現在、用地買収・補償、改良工事や、橋りょう下部の工事を進め、小方ーCランプ橋下部の工事がされています。令和5年度には、小方ーCランプ橋上部の工事、令和7年度には、大竹トンネル工事に着手予定のことです。

私達、広報広聴特別委員は、市民の皆様に議会活動をわかりやすくお伝えできよう、新たなことにも挑戦し、取り組んでいきます。
大竹市では、3回目の新型コロナウイルススワクチンの接種が始まりましたが、引き続き、マスクの着用・手洗い、人との距離をとるなど、感染防止に努めていただくとお願いいたします。

藤川 和弘

市議会だよりは市ホームページにも掲載しています。



発行：令和4年2月1日 大竹市議会 広島県大竹市小方一丁目11-1
Tel 0827-5912183 Fax 0827-571110